

# あつぎ郷土博物館NEWS7月号

企画展 デビュー100年「和田 傳」再発見  
—今甦<sup>よみがえ</sup>る あつぎの明治・大正・昭和を生きた作家の真実—

## 関連講座で知る和田の世界

郷土の作家・和田傳、その名前は知っていても、著作、活動についてはご存知ない方が多いのでは。デビュー100年、「和田傳」展の関連講座で、その魅力を再発見しましょう！ まずは講演会のご紹介。

①7/29 (土) 椋棒哲也先生。和田研究の第一人者。ふんだんに画像を用い、ダイナミックにその魅力を発信。

②8/27 (日) 小島櫻禮先生。民俗学会の大御所。和田作品を民俗誌として読み解き、和田の魂を追求します。

そして、夏休みの子どもたちには…

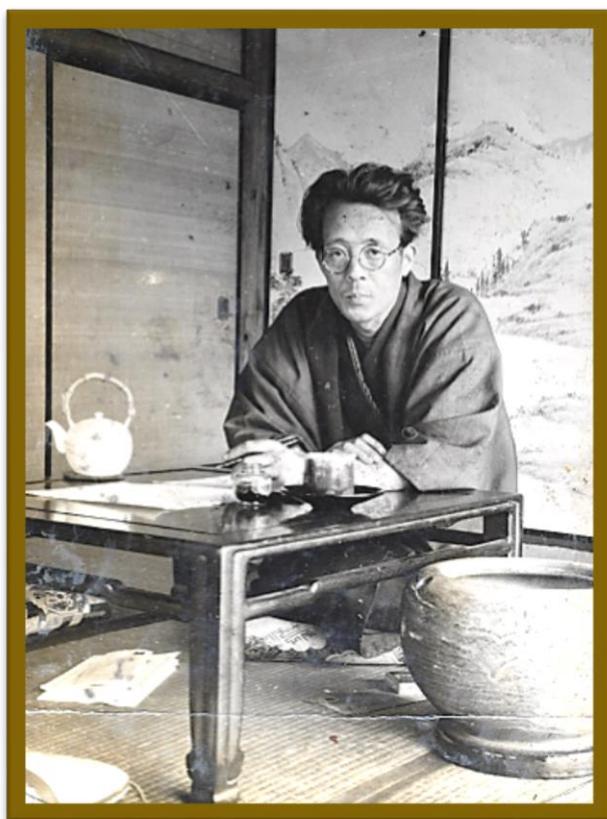
③7/23 (日) 「描くって楽しい！お絵描き教室」。講師は元小学校長で、あつぎ飯山野良の芸術美術館館主・小島富司先生。和田の心を受け継ぐ筆は”大地の筆致”！ 描く楽しさを体感しましょう。

④8/6 (日) 「書くって楽しい！文章教室」の講師は白坂洋一先生。筑波大学附属小学校国語科教諭で、その活動は全国区の人気です。読むこと、書くことの楽しさを体験しましょう。

最後に、⑤9/2 (土) 映画会「翳雲<sup>いわしくも</sup>」。昭和30年初頭の厚木を舞台として、新旧世代の葛藤<sup>かつとう</sup>を厚木の風景の中に描き出した大作です。制作当時の35mmフィルムを当時の映写方法でご覧いただきます。

さあ、詳細を博物館HP等で確認してみましょう。

- 会 期：令和5年7月22日 (土) ～9月18日 (月・祝)
- 入館料：無 料



▲展示 HP へ

## 文化財保護課(博物館) 7月の予定

日	曜日	行事内容	講師等	時間
<b>NEW</b> 郷土の作家から探る厚木の姿「和田傳展」7/22から *7月22日(土)、 <b>ギャラリートーク</b> 14時から実施!				
13	木	あつぎの古文書解読会 <b>参加自由</b>	古文書解読会	13:00 ~16:00
20	木	あつぎの古文書解読会 <b>参加自由</b>	古文書解読会	13:00 ~16:00
<b>NEW</b> 23	日	*描くって楽しい! 夏休みお絵描き教室 (小中学生向け)	小島 富司 (元小学校長)	① 9:30 ~12:00 ② 13:30 ~16:00
27	木	あつぎの古文書学習会 <b>参加自由</b>	古文書解読会	13:00 ~16:00
<b>NEW</b> 29	土	*講座「和田傳 文業百周年記念 展覧会に寄せて」	椋棒 哲也(立 教大学兼任講師)	14:00 ~16:00
<b>NEW</b> 30	日	団扇づくり教室 <b>参加自由</b>	文化財保護課 職員	10:00 ~16:00
31	月	休館日		

⇒ \*の展示関連講座は、事前申込制です。電話(博物館 225-2515)か、市講座予約システムからお申込みください。

事業  
報告

## ●6月3日「厚木の野鍛冶」

現在、融合展示のテーマは「金・鉄」。民俗分野では「野鍛冶」の仕事を取り上げています。展示された道具はどのように使われているのでしょうか。学芸員が30年ほど前に撮影した映像を解説付きで鑑賞しました。きれいで見やすい画像ではありませんが、道具をみるだけでは伝わらない職人の技、息づかいを知ることができました。

「わが国民の生活の推移の理解のため欠くことのできないもの」(文化財保護法)という民俗文化財ですが、使用者が亡くなってしまった現在、映像も貴重な資料となっています。博物館では、動画、静止画にかかわらず、映像資料についても作成、収集を進めていきたいと考えています。



- あつぎ郷土博物館 開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)  
休館日 毎月最終月曜日 年末年始(12/29~1/3)
- 古民家岸邸 開館時間 午前10時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)  
休館日 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 12/25~1/3



(申込み・問合せ) あつぎ郷土博物館

〒243-0206 厚木市下川入1366-4 電話 046-225-2515

Mail [8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp](mailto:8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp)

FAX 046-246-3005